

SS 探究 群馬県理科研究発表会

令和4年11月6日 群馬大学にて開催

「群馬県理科研究発表会」は、小学校から高等学校の児童・生徒が、日頃の研究成果を発表するものです。高等学校では、物理、化学、生物、地学、ポスターの5部門があり、各部門でもっとも優れた研究発表（最優秀賞）が、次年度の高等学校総合文化祭自然科学部門に参加する資格を得ます。

本校からは、生徒9名が各部門に分かれ6つの発表を行いました。生徒たちにとっては、1年間で最も大きな発表会であるため、発表前日まで実験や発表資料の作成を行い、持てる力をすべて発揮できるよう、努力を続けてきました。3年ぶりの全発表者が会場に入る形での開催となったこともあり、生徒たちは、審査員や他の発表者との質疑応答でも白熱した議論を行うことができました。審査の結果、2つの部門（物理部門、化学部門）で最優秀賞を獲得することができました。これら以外にも複数の発表が入賞することができました。以下に入賞結果と研究テーマの一覧を記します。

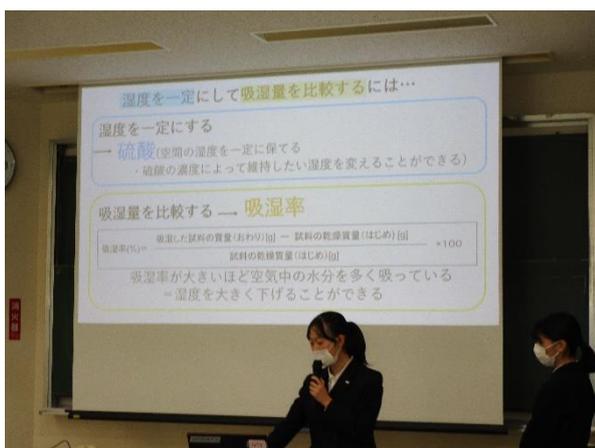
【物理部門】

- 最優秀賞** 「マスクによる音圧レベルの変化」
審査員奨励賞 「糸の癖は弾くことによって直るのか」

【化学部門】

- 最優秀賞** 「チョークを利用した除湿剤の作成」
審査員奨励賞 「廃棄物を利用した消しゴム」

生徒たちの努力の成果が実り、6つの発表のうち、4つの発表で入賞を獲得することができました。今後の生徒たちのさらなる研究の進展を期待できる発表会となりました。



発表の様子



発表の様子